

チアガールで華やぐ

早稲田大学エクステンション講演会

共催 早稲田大学・早稲田大学校友会鹿児島県支部



エクステンション講演会
&
鹿児島県支部総会



■発行
早稲田大学校友会
鹿児島県支部

■住所
鹿児島市金生町3-1
山形屋本部秘書室
☎099-227-6310(代)

早稲田大学エクステンション講演会並びに平成九年度校友会鹿児島県支部総会が、さる七月十二日（土）、城山観光ホテルで開催されました。

午後二時から開かれたエクステンション講演会では奥島孝康総長の講演に続

き、「漱石と
康成・薩英戦
争と鹿屋」と題し、武田勝彦政治経済学

部教授の講演があり、校友在校生父
母などが熱心に聴き入りました。

その後の支
部総会におい
ては、松元支部
長の挨拶のあと
加藤幹事長より
総会議事が行わ
れ、最後に奥島
総長と御一緒に
参加された中嶋
代表幹事の挨拶
があり、無事終
了しました。

総会終了後の
懇親会は、すでに恒例となつた
MBCの城光寺
剛アナウンサー

(S 58教育学部卒)の軽快な司会進行で進められ、大勢の校友の他に多くの在校生父母も加わる中、にぎやかに行われました。総長も写真撮影などにも快く応じられ、また著書にも気軽にサインされるなど、和気あいあいとした雰囲気となりました。

恒例の抽選会も馬場弘人幹事な

どの進行により大いに盛り上がりました。校歌斉唱ではもはや欠かせない存在となつたアリーダー出身の内田詠子さん(H 8文卒)が花を添え、いつもの力強さに加え華やかな雰囲気の中、懇親会は幕を閉じました。なお景品の御提供をいただいた皆様には、こちらからお礼を申し上げます。

報告 事務局長 川畑孝則

南建設(株)専務取締役
(S 46年商学部卒)



赤星多香	川井田哲	西青木亨
網谷宏	川内博史	彦
石田司郎	川畠孝則	西園靖
石松利和	菊池龍夫	西原敦
板山辰郎	栗山良昭	野見山洋子
井上博基	黒岩千尋	馬場弘人
井原三敬	郡山節郎	速水人彦
蘭牟田寛	古謝将二郎	春田昭
入来院貞子	寿洋一郎	肥後貞
岩切久治	坂元浩幸	肥後貞
岩下吉廣	重野省三郎	仏後浩
上原一治	重吉榮五郎	堀内憲夫
内田詠子	七田好正	松元茂
大武進	下唐湊行	宮川秀樹
大竹山章	城光寺剛	麦野賦
大西洋逸	武盛武	森祐介
大西儀朋	豊山博	森祐介
大野達郎	田中幸夫	山下次愛
大保三郎	土田充	山根京章
大脇堂友一	津曲貞義	吉井伸一郎
尾加藤彦	田中志政	吉田守
狩野正彦	鶴藤雄郎	吉田伸一郎
辛島史朗	中村雅麿	米盛庄一郎
坂立夫	中村純一郎	庄一郎

川内レガッタ早慶戦

鹿児島稲門会(OB)が優勝!!



現役クルーを迎えて和氣あいあいの前夜祭(10月10日=川内市の太陽パレス)

現役戦は慶応に凱歌

ドを許した早大艇は追走及ばず、三艇身差で惜敗した。勝敗は時の運。とはいってよい。また、恒例になつたOBの対校戦は、鹿児島稲門会と鹿児島三田会が、ともに好スタートを切つたが、鹿児島稲門会が終始リードを守つてゴールイン。三年ぶり三回目の優勝を飾つた。鹿児島稲門会の勝因は、錦江湾での日頃の練習の成果が実つたもの。平均年齢の最も若い北薩摩稲門会は、にわか編成が災して最下位にとどまつた。

この日は快晴に恵まれ、絶好のスポーツ日和。家族連れを含め、四十人近い早慶OBが勢ぞろいした。弁当を囲んでの談笑、競技の間の舌戦、両校応援歌の合唱など、早慶戦ならではのムードが盛り上がり、競技後は完走した喜びに抱き合い、互いの健闘を讃えあつた。多くの市民が、名物の応援合戦を遠巻きに見物していたのもうれしいかぎりで、現役、OB戦は、川内レガッタを飾るにふさわしく、新聞、TVなどマスコミの注目を引き、レースの展開が大きく報道されたのは、ご承知のとおり。

第六回川内レガッタが十月十一日、川内の川内川・瀬口護岸であり、市民ら約三千人（主催者発表）の声援のなか、現役選手によ

る早慶戦がファイナーレを飾つた。対抗戦は九三年に続いて二回目。二〇〇〇メートルのコースをエイトで争つたが、序盤から慶大艇にリードを許した早大艇は追走及ばず、三艇身差で惜敗した。勝敗は時の運。とはいってよい。また、恒例になつたOBの対校戦は、鹿児島稲門会と鹿児島三田会が、ともに好スタートを切つたが、鹿児島稲門会が終始リードを守つてゴールイン。三年ぶり三回目の優勝を飾つた。鹿児島稲門会の勝因は、錦江湾での日頃の練習の成果が実つたもの。平均年齢の最も若い北薩摩稲門会は、にわか編成が災して最下位にとどまつた。

この日は快晴に恵まれ、絶好のスポーツ日和。家族連れを含め、四十人近い早慶OBが勢ぞろいした。弁当を囲んでの談笑、競技の間の舌戦、両校応援歌の合唱など、早慶戦ならではのムードが盛り上がり、競技後は完走した喜びに抱き合い、互いの健闘を讃えあつた。多くの市民が、名物の応援合戦を遠巻きに見物していたのもうれしいかぎりで、現役、OB戦は、川内レガッタを飾るにふさわしく、新聞、TVなどマスコミの注目を引き、レースの展開が大きく報道されたのは、ご承知のとおり。



孫も交えた早大OB応援団(10月11日=川内川瀬口護岸)

れた前夜祭では、川薩地区はもとより、県内各地から集まつた早慶OB、川内市と川内市漕艇協会関係者ら約百人が、現役チームの監督、コーチ、学生らを温かく迎え入れた。両校OBを代表して松元茂早大校友会鹿児島県支部長が歓迎の挨拶。早大漕艇部の前田勝也部長からオールのレリーフの贈呈、選手・OBの交歓風景を交えた記念写真の撮影、エールの交換などもあり、終始、和氣あいあいのうち、楽しい歓迎会が行われた。前田部長の挨拶の中で、「全国各地で早慶対校レースが行われるようになつたのは、四年前の川内レガッタが先駆けだった」とす

る秘話が紹介され、当地の早慶レガッタが、両校OBの交流史の中でも、画期的な意義を持つていたことを実感したのである。

以上が、川内川で行われた二回目の早慶対校レースの経過と意義だが、単なるお祭り騒ぎに終わるのではなく、第一にスポーツによる地域興しと、第二には両校OBが互いに抱いている親近感と相互研鑽心の涵養、そして、第三には交流と、親睦をより深めようという目的意識が、この対校レースの底流にこめられているのを知つてほしかつた。最後に、はるばる来てくれた現役クルーと、応援していただいた両校OBには、心からお礼のことばを申し上げた。早慶対校レガッタの成績は次の通り。

早慶対校エイト (2000m)

①鹿児島稲門会（濱田紘一、尾

堂友紀、奥和人、笠原一三）3分09秒32 ②鹿児島三田会（石原

石、田実英巳、米田英也、岩元義弘）3分21秒98 ③北薩三田会（小牧紘一、水溜貞美、初田健、

古川徹）3分30秒66 ④北薩稲門会（松元邦明、山根京章、堀ノ内正市、高橋徳和）3分59秒5

リン君を想う時

鹿児島テレビ報道部

松元 修一

(S 55年第一文学部卒)



う意識が強かつたように思う。人を疑う事を知らない青春だったわけだが、そこにあのリン君事件。今にして思えば、楽しかった時代の想い出となつた。

リン君は「ちょっとお金ない。すぐ返す」と言って、仲間からお金を借りた。そう、友達なら当たり前。友の部屋に泊めて食事もさせた。自分たちと環境がちがう友人が出来た喜びもあつたのだろう。

あれは確か大学二年か三年の時だつたと記憶している。舞台は神宮の森、早慶戦だった。前夜、鹿児島県出身の仲間で卓を囲んで騒いでいた。そこに、一人の台湾人留学生と称するリン君が仲間に入ってきた。きつかけは思い出せないが、日本語の巧みな彼に誰も疑問を感じなかつた。早慶戦の雰囲気がそうさせたのかもしれないが。

私たちは中野文化圏と称して、仲間数人が暮らす中野区にいつもいたむろしていた。友だちの部屋を泊まり歩いて、酒や麻雀に没頭する事が多かつた。親からの仕送り日は各自違つていて、そのスケジュールに合わせるかのごとく、仕送りのあつた友の部屋で過ごしていた。それぞれ自分が自分の仕送りと感じず、みんなのお金とい

鹿児島稻門会ハワイツアー 参加者募集中!!

- 旅行団体名 鹿児島稻門会ハワイツアー
 - 旅行期間 1998年2月6日(金)～
2月11日(水) 6日間
 - 旅行費用 ¥184,000-(1人当たり)
- 1人部屋追加料金 ¥77,000-
 - ビジネスクラス往復追加料金 ¥52,000-

*ただし機内食はエコノミークラスと一緒にです。

また、すべて禁煙席です。

*ハワイ地区稻門会との交流会も予定されています。

お問い合わせ先：南生建設(株) 総務部 梶原まで
TEL 099-223-8388・FAX 099-227-0620

そして何日か過ぎてからのこと。

新聞の三面記事にリン君が登場した。詐欺だ。同様の手口でお金を騙し取つていたという。私たち

早稲田ウイークリー (発行：早稲田大学)
ハエビ茶ソーンレより

さて、何かを書かなければならぬ。そこで、裸写真で部数を伸ばした週刊誌の例の記事をとりあげることにする。その記事によれば早稲田大学の教員は

『三流』(あるいは『四流』)だ

う。もしかして、また目の前に現れて彼が「ちょっとお金」と

言つても、多少の金ならまた貸してしまうだろう。成長していく

いというよりも、むしろそれを許せる年齢になつたと感じる今日この頃である。

この記事のいい加減さを表して

いるが、それとは別に、教員

が三流、四流の根拠が何なの

か、具体的な根拠が示されていな

い。▼一般に、反論のしようの

ない議論は学問的には悪い議論

とされているが、事柄が我々教員およびその家族の名譽にかかるだけに、実に卑劣な議論と言わなければならない。

うえは徹底的に戦うしかない。

中世的世界であれば、己れ

と一党的名譽を守るために直ちに武器を携えて、実力でもつて

反撃するところであるが、近代社会はそうした自力救済を禁止

しているので、平和的に戦うしかない。どうするか。一つは相手方を謝罪させるために、裁判に訴えることである。二つは、

その週刊誌に対する不買運動を

すすめることである。ただし、この種の、女性の裸を売り物にする類いの週刊誌はもともと買

う気にならないので、この雑誌の不買だけでは実効性がない。

この雑誌を発行している出版社の出版物全部を例え少なくとも一年間買わないようにする▼

個人的名譽と家族の名譽を守るために、日本人がもつてきた美徳、すなわち寡黙と恥じらいを

かなぐり捨てて、自分が日本で、いや世界でいかに評価され

ているかを恥を忍んでひけら

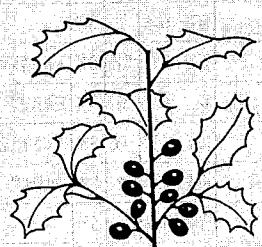
かすことである。そして、早稲田大学は各教員からそうして

『ひけらかし』を収集してお

て、いつでも今回のよう悪意のマスコミ関係者と戦えるよ

う、臨戦態勢をしておくことである。

H・K





鹿児島稻門会会報 第5回鹿児島早慶懇親会（実行委員長 加藤一徳鹿児島稻門会幹事長）が、去る十一月十日（月）兩校の校友約百六十人が参加して、山形屋ファミリーレストランで開かれた。

今回は第五回の節目といふことで、交歓会に先立ち、池田正義氏（日本経済新聞社取締役西部支社代表 昭和38年政経学部卒）による記念講演が行われた。

「鹿児島に活を入れる」という演題で行われた講演会では、雄弁会出身ならではのユーモアをまじえた熱弁に兩校校友も熱心に聴き入っていた。

その後、交歓会に移り、校旗塾旗入場に続き、校歌塾歌を齊唱し会出身ならではのユーモアをまじえた熱弁に兩校校友も熱心に聴き入っていた。

また、クライマックスの「紺碧の空」「若き血」の応援歌を歌う際

紹介などが行われた。



第一文学部卒 南日本放送（平成8年ガール）内田詠子さんも演台には、応援部OBとともに元チア

氏名	学部	卒業年次	勤務先	氏名	学部	卒業年次	勤務先	氏名	学部	卒業年次	勤務先
始良一徹	教育	H5	南日本新聞社	川井田哲	理工	S52	川井田組	西純一郎	政経	S36	緑の風政治経済文化懇話会
赤星多香	政研	S34	赤星総合保険事務所	川内博史	政経	S61	赤星会議員 川内博史事務所	西義樹	政経	S45	アサヒビール
網谷文宏	政経	S32	アミタニ	川畑孝則	商	S46	南生建設	西山彰典	商	S49	ギリンピール
池濱正雄	商	S28	鹿児島カード	河原正雄	教	S50		野見山洋子	一文	S37	野見山ヨガ 整美体操研究所
井上博基	法	S59	昂	菊池紘一	商	S40	鹿児島銀行	橋口幸夫	政経	S27	鹿児島県立短期大学
入来院貞子	一文	S33		北園寿郎	教	S63	電通九州鹿児島支店	馬場弘人	教育	S45	日本航空
入来院重朝	政経	S32		久保英司	政経	S54	鹿児島市役所	演田竜一	商	S43	中央ビルサービス
岩下司郎	一文	S46	シャディイワシタ	栗山良昭	政経	S29	日本通運参与	速水正昭	商	S41	電通九州鹿児島支社
岩下吉廣	政経	S49	山藤建設	黒岩千尋	商	S33	鹿児島女子短期大学	春田滋	法	S41	ハルタ
岩坪信吉	社学	S32	岩揚	郡山節郎	政経	S35	南日本新聞社込広告社	肥後貞人	理工	S51	KKB鹿児島放送
上原敏	商	S40	霧島ゴルフクラブ	古賀将二郎	政経	S27	さつま屋	仏瀬浩	理工	S42	小牧建設
内田詠子	一文	H8	南日本放送	小林春比古	教育	H4	アサヒビール	堀内憲夫	政経	S28	南日本放送
江崎史敏	商	S51	石川島播磨重工業	境龍一郎	法	S53	南日本ビジネスサービス	増留貴朗	政経	S36	鹿児島県議会議員
大迫雅博	商	S41	鹿児島銀行	佐名木高広	商	S63	ギリンピール	松原一樹	一文	H6	三井海上火災
大武進	政経	S33		城光寺剛	教育	S58	南日本放送	松元茂	政経	S25	鹿児島空港ビルディング
大竹山章	社学	S61	鹿児島読売テレビ	武盛武士	法	S55	鹿児島県庁	松本洋一郎	教育	S42	南日本新聞社
大西洋逸	法	S31	鹿児島海陸運送	豊山博美	政経	S32	南日本放送	三嶋聰	法	S32	ハウジング創建
大野達郎	法	S46	KTS鹿児島テレビ	田中健作	一文	S39	イシダハカリタナカ	宮内正義	法	S42	鹿児島銀行
岡村俊彦	理工	S63	鹿児島県立短大	田中徳義	商	S48	鹿児島実業高校	宮川秀樹	政経	S48	宮川公認会計士事務所
尾堂友紀	理工	S49	鹿児島共和コンクリート工業	田中幸夫	理工	S41	田中幸夫建築設計事務所	宮城弘孝	法	S56	
小野原健	商	S33	小野原商店	玉利啓介	政経	S55	タマリスピーツ	百田陽一	政経	S40	KKB鹿児島放送
海江田悦郎	商	S48	鹿児島市消防局	月田好彦	政経	S33	南日本放送 (MBCサンステージ)	森睦男	商	S36	鹿児島製茶
加藤一徳	教育	S40	南日本新聞社	月野浩二	教	S53	南日本新聞社	山下稔	一文	S36	ちぐさ手芸店
狩野雅彦	商	S57	キリンピール	土子豊喜	法	H1	安田火災海上保険	山根京草	商	S39	千代田火災
辛島史朗	法	S55	南日本新聞社	中村耕治	政経	S49	南日本放送	吉崎和穂	理工	S50	
板屋立夫	法	S49	カリヤ	中村雅磨	法	S36	鹿児島大学	米盛庄一郎	理工	S56	米盛建設
刈屋美枝子	教育	S63		新原晃	理工	S29	新原製作所				



霧開氣でおおいに盛り上がり上がった。

報告 実行委員 辛島史朗
(S55年法学部卒)
南日本新聞社総務局

編集後記

今年の早慶懇親会は、例年なく多くの参加者を集め大盛況のうちに終えることができました。来年も校友の皆様の稻門会活動へのご協力を宜しくお願いします。

会報委員

吉田守

久保英司

辛島史朗

始良徹

大西儀朋